



The Society of Environmental Instrumentation, Control and Automation

環境システム計測制御学会

第28回 研究発表会 参加のご案内／プログラム

主催	環境システム計測制御学会 (EICA)
日程	平成28年10月25日(火)・10月26日(水)
会場	横浜市開港記念会館 (〒231-0005 横浜市中区本町1-6)
後援	横浜市環境創造局 (公社)化学工学会, (公社)計測自動制御学会, (一社)産業環境管理協会, (一社)システム制御情報学会, (一社)全国上下水道コンサルタント協会, (公社)全国都市清掃会議, (公社)大気環境学会, (一社)電気学会, (公社)土木学会, (一財)日本環境衛生センター, (公社)日本環境技術協会, (一社)日本環境測定分析協会, (一社)日本機械学会, (公社)日本下水道協会, (一社)日本下水道光ファイバー技術協会, (公社)日本工学会, (公社)日本水道協会, (一社)日本知能情報ファジィ学会, (一社)日本電気計測器工業会, (公社)日本水環境学会, (公財)廃棄物・3R研究財団, (一社)廃棄物資源循環学会, 防災学術連携体



横浜市開港記念会館

〒231-0005 横浜市中区本町1-6 TEL.045-201-0708

交通アクセス

- JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分(約700m)
- 市営地下鉄線から「関内駅」1番出口から徒歩10分(約700m)
- みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分(約50m)



開催趣旨

2015年11月30日から12月13日まで、フランス・パリで開催されていたCOP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）において、2020年以降の温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」が正式に採択されました。

わが国の約束草案では、温室効果ガスを2030年度に2013年度比マイナス26.0%（2005年度比マイナス25.4%）という目標値を掲げています。

これを実現するために、わが国の取り組み方針として「地球温暖化対策計画の策定」「政府実行計画の策定と率先した取り組み」「地方自治体、産業界、民間団体等の連携」が掲げられ、また「革新的技術開発について集中すべき有望分野への研究開発強化」が進められる方針です。

また一方では、地球温暖化は不可避な状況となっており、すでに降雨量の減少の一方、集中型強度降水の発生などが起きています。これを受けて気候変動の影響への適応計画が平成27年11月に閣議決定され、「水環境対策」「渇水対策」「水害対策」「暑熱対策」等の分野で下水道への期待と対応が求められている状況です。

このような社会情勢を鑑み、環境システム計測制御学会では、第28回研究発表会を2日間にわたり以下の内容で開催いたします。

1日目は「COP21を踏まえた今後の温暖化対策」をテーマとした、基調講演ならびにディスカッションを行います。特にパネルディスカッションでは下水道分野にフォーカスを当て、温暖化防止のほか、避けることが出来ない温暖化への適応などについて、行政や企業の方針や取り組み、今後の問題について議論します。

2日目は環境システム計測制御学会の基本趣旨である、上下水道などの水環境・廃棄物分野から維持管理・エネルギーなどに関する幅広い分野に関して、計測・制御・機械・管理に関する研究発表を募集し、査読論文と一般論文を合わせた研究発表を行います。

環境システム計測制御学会会長 清水 芳久（京都大学大学院工学研究科教授）
第28回研究発表会実行委員長 山田 顕寛（株式会社 日立製作所）

組織委員会（敬称略）

組織委員長

清水 芳久 京都大学大学院工学研究科附属
流域圏総合環境質研究センター
教授

組織委員

栗津 邦男 大阪大学大学院 工学研究科
環境・エネルギー工学専攻 教授
諫山 修 北九州市上下水道局 局長
稻森 悠平 (公財) 国際科学振興財団
バイオエコ技術開発研究所 所長
江藤 隆 (公財) 日本下水道新技術機構
理事長
大垣眞一郎 (公財) 水道技術研究センター
理事長
大熊 洋二 横浜市環境創造局 局長
大迫 政浩 国立研究開発法人 国立環境
研究所資源循環・廃棄物研究
センター センター長
金子 正典 川崎市上下水道局
上下水道事業管理者
楠田 哲也 九州大学 高等研究院 特別顧問

榊原 隆 国土交通省国土技術政策総合
研究所 下水道研究部長
新谷 耕治 広島市下水道局 局長
鈴木 穰 (公財) 日本下水道新技術機構
研究第一部 部長
曾小川久貴 (公社) 日本下水道協会 理事長
高松 康廣 札幌市下水道河川局
下水道河川局長
田中 宏明 EICA名誉会員
京都大学大学院 工学研究科附属
流域圏総合環境質研究センター
教授
二宮 潔 福岡市道路下水道局 局長
丹羽 吉彦 名古屋市上下水道局 局長
野津山 宏 広島市水道事業管理者
広島市水道局長
春名 克彦 兵庫県農政環境部 環境管理局
局長
藤原 健史 EICA監事 岡山大学大学院
環境生命科学研究科 教授
前田 淳一 東京都下水道局 局務担当部長
眞柄 泰基 日本オゾン協会 会長

松井 三郎 EICA名誉会員 京都大学名誉
教授
松尾 友矩 東洋大学 常務理事
水口 和彦 神戸市水道局 神戸市水道事業
管理者
味埜 俊 東京大学大学院
新領域創成科学研究科 教授
村上 浩世 滋賀県琵琶湖環境部 部長
森岡 泰裕 国土交通省 水管理・国土
保全局下水道部 部長
谷戸 善彦 地方共同法人 日本下水道
事業団 理事長
山添 洋司 京都市上下水道局
公営企業管理者 上下水道局長
横田 秀樹 東京都水道局 設備担当部長
李 玉友 東北大学大学院工学研究科 教授

実行委員長

山田 顕寛 株式会社 日立製作所
水ビジネスユニット
水事業部 サービス事業推進部

Program

第1日目 10月25日(火)：横浜市開港記念会館 1階 大講堂

オープンセッション

開会挨拶 13:00～13:30	開会挨拶 清水 芳久 環境システム計測制御学会 会長（京都大学大学院工学研究科 教授） 来賓挨拶 大熊 洋二氏 横浜市環境創造局長
基調講演 13:30～14:30	『パリ協定とパリ後の温暖化対策』 高村 ゆかり氏 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
14:30～15:00	休 憩
パネルディスカッション 15:00～17:00	『下水道分野における地球温暖化対策の動向』 座長 高岡 昌輝氏 EICA副会長/京都大学大学院地球環境学堂 教授 パネリスト 石崎 隆弘氏 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術調整官 川 緑 健二氏 横浜市環境創造局 下水道施設部 下水道設備課長 齋藤 利晃氏 日本大学理工学部 土木工学科 教授 福沢 義之氏 月島機械株式会社 執行役員 大 戸 時喜雄氏 メタウォーター株式会社 R&Dセンター 技師長
表彰式 17:00～17:15	平成28年度奨励論文賞
交流会 17:40～19:30	アクイラ・ウォランス（ダイワロイネットホテル横浜公園1階）

パネルディスカッション

- テーマ：下水道分野における地球温暖化対策の動向
- 座長：高岡 昌輝氏 EICA副会長/京都大学大学院 地球環境学堂 教授
- 趣旨：2015年11月30日～12月11日までフランス、パリで第21回締約国会議が開催され、翌12日に「パリ協定」が採択され、中国、アメリカも含めた地球温暖化防止に向けた新たな国際的な枠組みが合意された。今後の環境分野において最も影響の大きい国際的な枠組みである。様々な取組が期待されるが、地方自治体においては、下水道事業は地方公共団体の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の中でも大きな割合を占めており、その対策が必要である。すでに、平成21年には下水道における地球温暖化防止推進計画策定の手引きが発出されるとともに、本年3月にはその改訂版として、下水道における地球温暖化対策がまとめられており、2050年における大幅削減に向けて待たなしの状況である。特に、社会インフラに関わるものはその耐用寿命は長く、これから計画を立てて5年後に導入されると想定すると、そのシステムは2050年においても運用されていることが見込まれる。したがって、現時点の判断は極めて重要である。さらには、地球温暖化の緩和策の立案、実行が優先されるべきものとするが、同時に適応策についても検討を始める時期に来ている。

第2日目 10月26日(水)：横浜市開港記念会館 1階1号室、2階6号室、9号室

時 間	1号室	6号室	9号室
9:30～11:30	A-1 下水処理Ⅰ（計測制御）	B-1 浄水処理	C-1 廃棄物処理
11:30～12:30	休 憩		
12:30～14:30	A-2 下水処理Ⅱ（運転管理）	B-2 広領域・環境	C-2 汚泥処理
14:30～16:30	A-3 下水処理Ⅲ（制御最適化）	B-3 省エネルギー	C-3 未来企画会議

Aセッション

9:30~11:30

A-1 下水処理Ⅰ（計測制御） [座長] 岡本誠一郎（国土技術政策総合研究所） [副座長]的場雅啓（(株)東芝）

3次元蛍光分析法とPARAFAC解析法を用いたプロセス水中有機物の挙動分析

○川口佳彦, 小島礼慈（(株)堀場アドバンステクノ）

硝化内生脱窒法におけるアンモニアセンサーを用いた硝化制御運転の最適化

○蒲池一将, 本間康弘, 鈴木 悟（wking(株)）

アンモニア態窒計の信頼性向上 センサ劣化診断

○室賀樹興（(株)堀場製作所）

アンモニア計と硝酸計を用いた同時硝化脱窒処理技術の開発

○中村高士（メタウォーター(株)）, 葛西孝司（東京都下水道局）, 曾根啓一（東京都下水道サービス(株)）, 鈴木重浩, 高橋宏幸（メタウォーター(株)）

アンモニア・硝酸計を活用した高度処理(A₂O)における硝化・脱窒作用の評価と応用

○後藤 大輔, 阿部 光裕（横浜市環境創造局）

12:30~14:30

A-2 下水処理Ⅱ（運転管理） [座長] 川縁健二（横浜市環境創造局） [副座長]飛川昌也（(株)明電舎）

水質維持と運用コスト低減の両立を図る極値探索型最適制御の適用性検討

○山中 理, 大西祐太, 小原卓巳, 平岡由紀夫, 中川祐一（(株)東芝）

生物膜ろ過池水位計腐食調査

○石田増雄, 富澤英一郎（東京都下水道サービス(株)）

セラミック平膜を用いた浸漬型MBRの実証プラントの長期運転結果

○打林真梨絵, 新井喜明（(株)明電舎）, 宮崎好弘, 佐野 勇（飯能市）, 山下喬子, 橋本敏一（日本下水道事業団）

浮上型チェーンフライト式汚泥かき寄せ機の開発

○野瀬 一弘（月島機械(株)）

14:30~16:30

A-3 下水処理Ⅲ（制御最適化） [座長] 松島 修（東京都下水道サービス(株)） [副座長]新井喜明（(株)明電舎）

アンモニア計を活用した効率的な硝化制御システムの長期実証

○西田佳記, 山野井一郎, 中村信幸, 武本 剛（(株)日立製作所）, 片倉洋一（茨城県土木部都市局）, 辻井優樹（茨城県流域下水道事務所）, 道中敦子（国土技術政策総合研究所）

下水処理場の反応槽における亜硝酸化の活性汚泥モデルシミュレーション

○中 大輔（メタウォーターサービス(株)）, 唐鎌考寛（メタウォーター(株)）

遠隔監視システムによる制御性能改善技術の実証と有効性評価

○難波 諒, 平岡由紀夫（(株)東芝）, 橋本敏一, 糸川浩紀（日本下水道事業団）, 井上英男（福岡県）, 矢野洋一郎（(公財)福岡県下水道管理センター）, 板倉 舞（国土技術政策総合研究所）

水処理系列における固形物収支の動的な予測手法に関する研究

○唐鎌考寛, 渡邊 敦（メタウォーター(株)）, 中 大輔（メタウォーターサービス(株)）

高い窒素除去速度 Anammox プロセスと汚泥特性についての研究

○馬 海元, 張 彦隆, 北條俊昌, 李 玉友（東北大学大学院）

B セッション

9:30~11:30

B-1 浄水処理 [座長] 佐藤 譲 (川崎市上下水道局) [副座長] 長塩尚之 (日新電機(株))

ハロ酢酸の低減に向けた浄水処理制御方法の設定と実運用

○大方正倫, 西川智士, 門野 薫, 三田村良典 (滋賀県企業庁)

凝集不良時のろ過処理性改善に対する二段凝集制御の効果

○久本祐資, 野網都夫, 山口太秀 (メタウォーター(株)),
海老江邦雄 (北見工業大学)

淀川へのセラミック膜ろ過技術の適応研究

○村田直樹, 山口太秀, 青木伸浩 (メタウォーター(株))

水道維持管理の効率化に向けた業務標準化 (SOP) 手法の検討

○圓佛伊智朗, 横井浩人, 武本 剛 ((株)日立製作所)

薬注ガイダンスシステム

○平林和也, 大林宏史, 占部正敏 ((株)安川電機)

12:30~14:30

B-2 広領域・環境 [座長] 井手慎司 (滋賀県立大学) [副座長] 田所秀之 ((株)日立製作所)

マレーシア・イスカンダル地域を対象とした低炭素施策導入による大気汚染への共便益の定量化

○倉田学児 (京都大学大学院), Muhammad Rafee,
Muhammad Azahar Z. (マレーシア工科大学),
山本恭祐 (京都大学大学院), 松岡 譲 (京都大学名誉教授)

下水道光ファイバーを利用したマルチセンシングボックスの開発

○徳原俊介, 畑山正美, 菊池信彦 ((株)日立製作所),
川上博行, 熱田 孝 (東京都下水道サービス(株)),
藤平 貞義, 三浦春好 ((一社)日本下水道光ファイバー技術協会)

し尿処理における助燃剤とリン資源同時回収システムの運用報告

○楠本勝子, 増山貴明 (水ing(株))

下水道施設へのXバンドMPレーダの導入と活用

○星野晃一, 柏木俊治, 田辺 啓 ((株)東芝)

14:30~16:30

B-3 省エネルギー [座長] 倉田学児 (京都大学大学院) [副座長] 山内 進 ((株)堀場アドバンスドテクノ)

大野市木質バイオマス発電所におけるタブレット端末の導入事例

○阿部裕一郎, 浦上和也, 小川正浩 ((株)神鋼環境ソリューション)

OR 制御によるブロワ省エネ運転

○池畑将樹, 湊 記先 ((株)ウォーターエージェンシー)

水道事業における省電力等対策に係るアンケート調査結果

○田中利明 ((公財)水道技術研究センター), 山本 丈 ((株)クボタ),
舘 隆広 ((株)日立製作所), 野口清隆 (元(公財)水道技術研究センター),
富井正雄, 安藤 茂 ((公財)水道技術研究センター),
堤 行彦 (福山市立大学), 松井 佳彦 (北海道大学大学院)

上下水道施設における再生可能エネルギー自立型電源供給システムの納入事例報告

○横山 雄, 川田行彦, 大石将之 ((株)東芝)

南区新総合庁舎と市民総合医療センターのエネルギー連携

○井上友輔, 波多野雄平, 熊谷治彦 (横浜市)

Cセッション

9:30~11:30

C-1 廃棄物処理

[座長] 大下和徹 (京都大学大学院) [副座長] 藤川博之 ((株)タクマ)

南海トラフ大地震における災害廃棄物の広域処理と仮設処理施設の検討

- 水谷一平 (立命館大学大学院), 梁田雄太 (立命館大学), 加用千裕 (東京農工大学大学院), 立尾浩一 ((財)日本環境衛生センター), 橋本征二 (立命館大学)

都市ごみの熱分解における速度論的解析と窒素放出挙動に関する研究

- 白石裕司, 中田谷直広, 濱 利雄, 古林 通孝 (日立造船(株)), 中塚記章, 林 潤, 赤松史光 (大阪大学大学院)

流動床式ガス化溶融炉における排ガスCO, NOx 制御技術

- 江口 徹 ((株)神戸製鋼所), 伊藤 正, 木下民法, 上古閑 久欣, 下梨 孝 ((株)神鋼環境ソリューション)

中国向けごみ焼却プラントの計装・制御

- 喬 雪竹, 王 磊甲 (青島荏原環境設備有限公司), 黒澤和重, 塚本輝彰 (荏原環境プラント(株))

12:30~14:30

C-2 汚泥処理

[座長] 小浜一好 (横浜ウォーター(株)) [副座長] 片山 学 (月島機械(株))

下水汚泥の高効率脱水と焼却廃熱発電システムの評価

- 山田恭平, ○大下和徹, 高岡昌輝, 藤森 崇 (京都大学大学院), 水野孝昭 ((株)タクマ), 星 隆伸 ((株)西原環境), 山崎正博, 下川克之 (和歌山市), 島田正夫 (日本下水道事業団), 川住亮太 (国土技術政策総合研究所)

画像センサーを用いた焼却炉煙道の閉塞抑制技術の開発

- 野本睦志 (東京都下水道サービス(株)), 中田友三, 冠城敏之 (東京都下水道局), 塚原純哉, 村田道拓 ((株)日水コン)

排ガス濃度計の維持管理の効率化

- 森 俊秋, 堀川智広 (東京都下水道サービス(株))

階段炉による下水汚泥焼却発電システムの評価

- 萩田 諭, 水野孝昭, 株丹直樹, 宍田健一 ((株)タクマ), 大下和徹, 高岡昌輝 (京都大学大学院)

南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業の経緯と試運転

- 原田俊文, 丹花崇之, 高野未来夫 (横浜市)

14:30~16:30

C-3 未来企画会議

[座長] 漆原隆浩 (東京都下水道局) [副座長] 田子靖章 (メタウォーター(株))

住民の不安解消を目的とする街づくり

- [チーム名] チームQ
永田祥久 ((株)明電舎), 久本祐資 (メタウォーター(株))

まちのイメージアップ戦略

- [チーム名] ビレッジセラー
西村拓也 (川崎市), 西室勇岐 ((株)東芝)

運動を通じたまちづくり

- [チーム名] チーム健康
中林佑太 ((株)日立製作所), 飯倉智弘 (水ing(株))

実行委員会 (敬称略)

実行委員長

山田 顕寛

株式会社 日立製作所
水ビジネスユニット
水事業部 サービス事業推進部

後藤 久明

株式会社 東芝 関西・四国社会
システム 技術部 部長

仲田雅司郎

株式会社 東芝
水・環境システム事業部 技監

後藤 雅史

マレーシア工科大学
マレーシア日本国際工学院環境
グリーン技術工学科 教授

中村 昌文

株式会社 日吉 技術部
分析研究課 係長

小浜 一好

横浜ウォーター株式会社
技術統括部長

中村 高士

メタウォーター株式会社
事業戦略本部 R&Dセンター
環境技術開発部
下水プロセス開発Gr 主任

佐々木祐人

株式会社 東芝
水・環境システム技術部

橋本 征二

立命館大学 理工学部
環境システム工学科 教授

実行委員

新井 喜明

株式会社 明電舎
水・環境システム事業部
戦略企画部 専任部長

佐藤 大毅

三菱電機株式会社 神戸製作所
社会システム第一部 担当部長

花里 善夫

三菱電機株式会社 神戸製作所
社会システム第一部 計画第一課
首席技師長

石川 隆章

EICA総務アドバイザー

佐藤 明雄

株式会社 安川電機
システムエンジニアリング
事業部 技術統括部 社会・環境
システム技術部 部長

原 靖彦

荏原環境プラント株式会社
プロジェクト営業統括部
プロジェクト営業企画室 室長

井手 慎司

滋賀県立大学 環境科学部
環境政策・計画学科 教授

佐藤 圭輔

立命館大学 理工学部
環境システム工学科 准教授

福嶋 良助

EICA事務局次長

岩井 優作

株式会社 日立製作所
水ビジネスユニット 水事業部
社会システム本部 東部システム
技術部 技師

佐藤 浩一

荏原環境プラント株式会社
電気計装統括部 電気計装
プロジェクト室 プロジェクト
第二グループ 副参事

藤川 博之

株式会社タクマ
エンジニアリング統轄本部 設計
センター 電気計装部 部長

岩堀 恵祐

宮城大学 食産業学部
環境システム学科 教授

佐藤 譲

川崎市上下水道局
水管理センター 水道施設管理課
施設維持担当課長

古里 明瑠

株式会社 神鋼環境ソリューション
土建・計電装技術センター
計電装技術部 部長

漆原 隆浩

東京都下水道局
東部第一下水道事務所
砂町水再生センター センター長

湛 記先

株式会社 ウォーター
エージェンシー研究開発部 部長

古田 隆

株式会社 明電舎 生産統括本部
副事業部長 兼 技術部部長

蛭江 美孝

国立研究開発法人 国立環境
研究所 資源循環・廃棄物研究
センター 国際廃棄物管理技術
研究室 主任研究員

高岡 昌輝

京都大学大学院 地球環境学堂
地球益学廊 教授

的場 雅啓

株式会社 東芝
水・環境システム技術部 部長

圓佛伊智朗

株式会社 日立製作所
日立研究所
材料イノベーションセンター
主管研究員

高橋 円

株式会社 神鋼環境ソリューション
技術開発センター
水・汚泥技術開発部 部長

三浦 雅彦

株式会社 神鋼環境ソリューション
水・汚泥技術開発部
新規水技術グループ グループ長

大下 和徹

京都大学大学院 地球環境学堂
地球益学廊 准教授

高見澤真司

メタウォーター株式会社
プラントエンジニアリング事業本部
担当部長

三島 浩二

水ing 株式会社
維持管理システム開発統括 統括
理事

大音 透

EICA名誉会員

竹俣 政則

東京都下水道サービス株式会社
施設管理部 施設管理課 課長

森寺 弘充

東亜ディーケーケー株式会社 顧問

尾崎 正明

(一社)全国上下水道コンサルタント
協会 専務理事

田子 靖章

メタウォーター株式会社
プラントエンジニアリング事業本部
エンジニアリング企画部
マネージャー

山内 進

株式会社 堀場アドバンステクノ
製品企画部 部長

笠倉 忠夫

EICA名誉会員

田所 秀之

株式会社 日立製作所
サービス&プラットフォーム
ビジネスユニット 社会制御
システム設計部 担当部長

山口 竜也

日之出水道機器株式会社
マーケティング統括本部
商品企画グループ
シニアソリューション
アドバイザー

片山 学

月島機械株式会社 水環境事業
本部 大阪支社 第一課 参事

田中 良春

メタウォーター株式会社
事業戦略本部 R&Dセンター
環境技術開発部 担当部長

楊 瑜芳

東麗先端材料研究開発(中国)
有限公司 TARC水処理研究所
所長

加藤 孝夫

西芝電機株式会社 取締役社長

飛川 昌也

株式会社 明電舎
水・環境システム事業部
技術部 技術第二課 専門課長

吉田 綾子

東京農業大学 生物応用化学科
客員研究員

川口 佳彦

株式会社 堀場アドバンステクノ
開発部 要素技術課
チームリーダー

中里 卓治

EICA名誉会員
株式会社 ティエスシー 顧問

早稲田邦夫

株式会社 日立製作所
水ビジネスユニット水事業部
主管技師長

川原 眞博

JFEアドバンテック株式会社
水環境事業部技術部 部長

長塩 尚之

日新電機株式会社
水環境事業部 企画グループ 主幹

川縁 健二

横浜市環境創造局 下水道施設部
下水道設備課 課長

川村 和也

東京都下水道局 施設管理部
保安管理担当課長

倉田 学児

京都大学大学院 工学研究科
都市環境工学専攻 准教授

後藤顕之輔

EICA名誉会員

参加要領

●申込方法

ホームページから参加申込書をダウンロード
もしくは印刷し、必要事項を記入の上、以下
の方法でお申し込み下さい。

- E-Mailの場合：info@eica.jpにお送り下さい。
- FAXの場合：077-537-4997に送信して
下さい。
- 郵送の場合：〒520-8696
日本郵便大津支店 私書箱28号
環境システム計測制御学会
事務局 宛

参加申込確認後、参加証・請求書をお送り
いたします。

参加証は当日受付にてご提示下さい。

*ご不明な点などはinfo@eica.jpもしくは
電話090-9219-4106にご連絡下さい。

●申込締切 平成28年10月7日（金）

※締切以降は当日受付になります。
あらかじめご了承下さい。

●参加費

種別	本会会員	非会員
一般	20,000円	25,000円
官公庁・教育機関	10,000円	15,000円
学生	3,000円	3,000円

◆振込先 三菱東京UFJ銀行草津支店(普)No. 4673128
口座名 環境システム計測制御学会
事務局長 倉田学児

*振込手数料はご負担願います。

*振込時、連絡欄もしくは通信欄に、学会から
お送りする請求書番号を必ずご記入ください。

奨励論文の表彰

本会では、研究者の一層の研鑽を願い表彰制度を設
けております。発表論文の中から奨励論文賞を選考
し、表彰を行うと共に副賞を進呈致します。

こちらを利用して参加申し込みできます。

参加申込みフォーム

FAX 077-537-4997

平成28年 月 日

EICA 環境システム計測制御学会 宛

フリガナ 氏名			
勤務先			<input type="checkbox"/> 個人
所属			役職
連絡先	〒 - TEL () - FAX () - E-mail		

種別	会員	非会員	★ご入金予定 月 日頃
一般	/20,000円	/25,000円	
官公庁・教育機関	/10,000円	/15,000円	
学生	/3,000円		

※該当区分に○印をご記入ください。